

2025 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス（田仲ゼミ）

科目名 『源氏物語』葵巻について考える	サブタイトル
	担当教員 田仲 洋己 専門分野 中世和歌文学

● 授業の到達目標及びテーマ

『源氏物語』については別途開講する面接授業で毎年取り上げていますが、ゼミでも取り上げてほしいという要望を何度もいただきましたので、2024 年度第 2 学期から試行的に実施しています。今学期は、極めてドラマチックな展開を見せる葵巻を取り上げ、この巻のヒロインであると言ってよい六条御息所と、彼女の生靈に憑りつかれて急死する光源氏の正妻葵上の人格像に焦点を当てながら、読書会形式でいろいろと考えてみたいと思っています。

● 科目概要

『源氏物語』第三帖を取り上げた前学期のゼミや、以前に開講していた『新古今和歌集』のゼミと同様、発表担当者による報告を踏まえて参加者全員で意見を交換、討議するというスタイルで、授業を進めます。初回の授業では、葵巻の物語の概略について紹介した上で、各回の発表担当者を決定します。第2回目以降の授業では、担当者の報告を踏まえて自由に討議します。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4月18日（金） 13:30～15:00	葵巻の物語の概要、発表順の決定
第 2 回	5月16日（金） 13:30～15:00	担当者の報告とそれを踏まえての討議
第 3 回	6月6日（金） 13:30～15:00	担当者の報告とそれを踏まえての討議
第 4 回	7月4日（金） 13:30～15:00	担当者の報告とそれを踏まえての討議
第 5 回	8月1日（金） 13:30～15:00	担当者の報告とそれを踏まえての討議

テキスト

- ◆ 葵巻の本文については、当方でコピーを用意致します。各回の発表資料については、担当者の方が作成されたファイルを事前に提出していただき、それを印刷して参加者の皆様に配付致します。

参考書・参考資料等

- ◆ 『源氏物語』の注釈書については、皆様が使いやすいものを自由に御利用ください。『新編日本古典文学全集（小学館）』『新日本古典文学大系（岩波書店）』『新潮日本古典集成（新潮社）』あたりが、代表的な注釈書です。最近刊行された岩波文庫版もあります。

田仲ゼミ生募集（教員メッセージ）

- ◆ 担当教員は長らく『新古今和歌集』とそれを生み出した時代に关心を持って来ましたが、この時代の和歌は王朝物語、とりわけ『源氏物語』との関りが深いので、自然とこの領域にも关心を抱くようになりました。今回は注釈史を踏まえての本格的なテキスト分析と言うよりは、自由な読書会形式で『源氏物語』の諸問題について考えるスタイルのゼミを、試行的に実施致します。奮って御参加ください。

2025 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス (稻垣ゼミ)

科目名 「楽しく学ぼう ビタミンの科学」	サブタイトル 健康を支える微量栄養素
	担当教員 稲垣賢二 専門分野 農芸化学

● 授業の到達目標及びテーマ

ビタミンは人が体内で生合成できず、食物から摂取しなくてはならない微量栄養素です。ビタミンの種類や性質について学び、その特徴と生理機能を理解できるようになる事を目標とします。

● 科目概要

ビタミンには脂溶性ビタミンと水溶性ビタミンがあります。ビタミンの多くは、摂取すると体内で補酵素に変換され、酵素を活性化し、生命の維持に貢献しています。脂溶性ビタミンや水溶性ビタミンにどのようなものが含まれるのか、またその生理作用はどのようなものかについて学び、更に健康に生活するためのポイントについて学びます。講義で学ぶとともに、参加者一人一人がテーマを決め、自主的に調べ、発表することで理解を深めます。工場見学などの体験学習も行う予定です。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4月16日 (水) 14:00~15:30	概要紹介と役割分担の決定
第 2 回	5月14日 (水) 14:00~15:30	脂溶性ビタミン 1
第 3 回	6月18日 (水) 14:00~15:30	脂溶性ビタミン 2
第 4 回	8月20日 (水) 14:00~15:30	水溶性ビタミン 1
第 5 回	9月17日 (水) 14:00~15:30	水溶性ビタミン 2

テキスト

- ◆ 「はじめての生化学 第2版」

化学同人 ISBN978-4-7598-1589-4 2100円+税

参考書・参考資料等

- ◆ 「これだけ生化学 第2版」 秀和システム ISBN978-4-7980-6410-9 1600円+税
- 「ビタミンハンドブック 2 水溶性ビタミン」 化学同人 ISBN4-7598-0190-1 1806円+税

◆稻垣ゼミ生絶賛大募集中（教員メッセージ）

これまで健康な暮らしに役立つ発酵食品や微生物のはたらきについて学んできました。
昨年は、微生物の科学についてでしたが、今年は健康な暮らしに必須なビタミンに関する科学の話を一緒に楽しく学びたいと思います。今学期も工場見学などの体験学習も行いたいと思います。

2025 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス（喜多ゼミ）

科目名 身近なものをを使って科学の本質に迫る実験・観察	サブタイトル 身近なものの利用
	担当教員 喜多雅一 専門分野 理科教育

● 授業の到達目標及びテーマ

日常生活の中の自然や科学技術をその発見の歴史や原理を実験・観察を通して辿ったり、深く理解し、さらにより良い生活へ活用することを考える。目からウロコの落ちる体験が科学する楽しさにつながることを目指す。

● 科目概要

今回は、家でもできる科学実験を中心に、その科学的原理を実験で確かめます。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4月3日（木） 13:30-15:00	空気と二酸化炭素の音の違い
第 2 回	5月15日（木） 13:30-15:00	お湯と冷水での電気抵抗の違い
第 3 回	6月19日（木） 13:30-15:00	スチール缶マイク、検流計マイク（何でもマイク）
第 4 回	7月3日（木） 13:30-15:00	レーリーのすだれ
第 5 回	7月31日（木） 13:30-15:00	声で共振

テキスト

◆実験観察のテキスト、参考資料は当日配布します。

参考書・参考資料等

◆当日配布するテキスト資料に文献をあげるので、さらに調べたい方へ参考となるようにします。

◆喜多ゼミ生募集（教員メッセージ）

できるだけお金をかけないで、本物の実験を行うための工夫を考えていきます。DX の時代ですが、身近なものを使った直接体験の科学実験・観察を重視し、これからの中高生の理科教育・科学教育のあり方を考えるゼミをおこないますので、興味のある方はご参集ください。

2025 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス（劔持ゼミ）

科目名 20世紀初頭の時代の思潮と英國社會	サブタイトル E. M. フォースターの『眺めのいい部屋』(A Room with a View) を読む
	担当教員 劍持 淑 専門分野 英語・英文学

● 授業の到達目標及びテーマ

エドワード朝(1901–1910)に発表されたイギリス小説を読み、登場人物のジレンマや対立する価値観について議論することにより、作品が時代をどのように写し取り、作家が時代と人間をどのように捉えていたのかを学ぶ。

● 科目概要

E. M. Forster (1879–1970) の小説『眺めのいい部屋』(A Room with a View, 1908) を読んで、20世紀初頭のイギリスの時代の思潮、イギリス社会と文化、新しい女性の登場、階級社会、女性主人公と絵画の関係等について考える。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4月22日(火) 13:30~15:00	作家、E・M・フォースターの人生と作品について 『眺めのいい部屋』A Room with a View を読み始める。Chapters 1–2 フィレンツェの旅：Lucy Honeychurch と Charlotte Bartlett、ルネサンス絵画
第 2 回	5月20日(火) 13:30~15:00	Chapters 3–4 ルネサンス絵画 Chapter 5 Miss Lavish と Miss Bartlett Chapters 6–7 George Emerson
第 3 回	6月17日(火) 13:30~15:00	第1部（舞台はイタリア）のまとめ 第2部（舞台はイギリス）のはじまり Chapters 8–9 中世 Cecil Vyse
第 4 回	8月19日(火) 13:30~15:00	Chapters 10–11 Cecil Vyse Chapters 12–13 Cissie Villa と Windy Corner 郊外の住宅 Chapters 14–15 Lucy
第 5 回	9月16日(火) 13:30~15:00	Chapters 16–19 ルーシーの嘘 Chapter 20 中世の終わり 発表と意見交換

テキスト

- ◆ E. M. Forster, A Room with a View (Penguin Classics) ISBN-10: 9780141183299 (ペーパーバック)
(各自で入手しておいてください。)

参考書・参考資料等

- ◆ 授業の中で紹介する。

◆劔持ゼミ生募集（教員メッセージ）

本ゼミでは、作品を読んで、作家が時代と人々をどのように捉えていたかについて、意見交換しながら検討します。作品に描かれる時代の思潮について各自で文献を調べて発表したり、討論したりします。
学生の主体性を尊重しつつ、助言する立場で指導にあたります。

2025 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス (齋藤ゼミ)

科目名 「腎臓が寿命を決める」か?	サブタイトル
	担当教員 齋藤 昇 専門分野 動物生理学

● 授業の到達目標及びテーマ

腎臓は私たちの健康にとって重要な臓器ですが、なかなか腎臓がどのようなことをしているのか知られていないと思います。基本的な腎臓についての知識が少しでも身につけばと思います。

● 科目概要

最近、「腎臓が寿命を決める」などの本が出版されていますが、腎臓の機能および役割が再認識されてきており、腎臓が私たちの健康維持にどのような役割を果たしているのかを一緒に勉強したいと思います。本ゼミでは、教科書として黒尾誠著「図解 腎臓が寿命を決める」を用います。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4月9日(水) 13:30~15:00	腎臓の機能
第 2 回	5月22日(木) 13:30~15:00	リンの必要性
第 3 回	6月11日(水) 13:30~15:00	腎臓の老化
第 4 回	7月9日(水) 13:30~15:00	リンを減らす
第 5 回	8月27日(水) 13:30~15:00	腎臓を守る

テキスト

- ◆ 黒尾誠著「図解 腎臓が寿命を決める」幻冬舎
ISBN978-4-344-04020-5 1300 円+税
または 黒尾誠著「腎臓が寿命を決める」幻冬舎新書
ISBN978-4-344-98644-2 860 円+税 (どちらかを各自で用意してください)

参考書・参考資料等

- ◆ 授業の中で紹介する。

◆齋藤ゼミ生募集（教員メッセージ）

腎臓は尿を作るだけと思われていますが、腎臓の機能および役割が再認識されてきており、老化によって機能が低下することから、「腎臓が寿命を決める」などと言われ注目されています。本ゼミで、腎臓の機能の基本的なことがわかって貰えればと思います。

2025 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス（堀内ゼミ）

科目名 社会心理学の基礎	サブタイトル
	担当教員 堀内 孝 専門分野 社会心理学、認知心理学

● 授業の到達目標及びテーマ

社会心理学の基礎的知見について学ぶ。

● 科目概要

本ゼミでは 1, 2 学期を通して、社会心理学の講義を行う。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4 月 11 日 (金) 15:00～16:30	社会における自己
第 2 回	5 月 9 日 (金) 15:00～16:30	社会的動機
第 3 回	6 月 13 日 (金) 15:00～16:30	対人認知
第 4 回	7 月 11 日 (金) 15:00～16:30	対人関係の親密化
第 5 回	9 月 12 日 (金) 15:00～16:30	ソーシャルサポート

テキスト

◆毎回資料を配布します

参考書・参考資料等

◆なし

◆堀内ゼミ生募集（教員メッセージ）

心理学の概説や概論を履修していない人は、自分で勉強しておいてください。

2025 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス（宮崎ゼミ）

科目名 認知言語学入門	サブタイトル
	担当教員 宮崎 和人 専門分野 日本語学

● 授業の到達目標及びテーマ

20世紀の言語学がどのように展開してきたかを概観し、その中でも、人の一般的な認知能力の反映としての言語の特質を探求する認知言語学の考え方を学んでいきます。身近な日本語や英語の事例を通して、人が言語を通して世界をどのように理解しながら他者と共に存しているかということを理解できるようになることを目標とします。

● 科目概要

対話形式で書かれた『言語学の教室 哲学者と学ぶ認知言語学』（中公新書）を紙芝居風にしたスライドを提示しながら、言語学が専門でない人にもその内容が理解できるようじっくりと解説し、理解を確かめたり意見を聞いたりしながら進めます。具体的なテーマとしては、認知言語学の特徴、意味と文法の関係、カテゴリー、プロトタイプ、メトニミーなどを扱います。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4月15日（火） 13:30～15:00	認知言語学の誕生
第 2 回	5月13日（火） 13:30～15:00	文法は意味と切り離せるか
第 3 回	6月10日（火） 13:30～15:00	プロトタイプと百科事典的意味論
第 4 回	7月8日（火） 13:30～15:00	使役構文の家族的類似性
第 5 回	9月9日（火） 13:30～15:00	メトニミーをどう捉えるか

テキスト

◆西村義樹・野矢茂樹著『言語学の教室 哲学者と学ぶ認知言語学』中公新書、2013年、ISBN:978-4121022202

参考書・参考資料等

◆ジョージ・レイコフ『認知意味論 言語から見た人間の心』池上嘉彦・河上誓作他訳、紀伊國屋書店、1993年、ISBN:978-4314005753

◆大堀壽夫著『認知言語学』東京大学出版会、2002年、ISBN:978-4130820080

◆今井むつみ・秋田喜美著『言語の本質 ことばはどう生まれ、進化したか』中公新書、2023年、ISBN:978-4121027566

◆宮崎ゼミ生募集（教員メッセージ）

認知言語学では、日常的な言語使用の観察を重視します。また、言語はルールに縛られたものではなく、本質的に揺らぎをもつものと考えます。言語についての当たり前のことに我々はいかに気づいていないかということを知っていただき、高校までに教わっていない言語の見方を体得することによって、誰でも言語について自分で考えられるようになることを目指します。

2025 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス (吉田ゼミ)

科目名 野菜の来歴と栽培	サブタイトル 夏野菜の品種生態と形態の多様性
	担当教員 吉田 裕一 専門分野 野菜園芸学

● 授業の到達目標及びテーマ

野菜に限らず作物は野生植物から選抜されて成立した。自然の環境変化に適応して次の世代を残してきた野菜たちの生態について想像しながら、来歴と成長過程について考えてみましょう。

● 科目概要

5回のうち3回は農学部フィールド科学センターの野菜圃場と半田山植物園を歩いて見学し、いろいろな季節の野菜などについてのフリートーキングを行います。今シーズンはそのほかに、アスパラガスとトウガラシに関する来歴などについて話題提供します。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4月2日（水） 13:30～15:30	半田山植物園見学（入場料 310 円が必要です。満年齢 65 歳以上全額免除（入園時、年齢の証明書が必要です）) 13：30 岡山学習センター玄関前集合
第 2 回	5月13日（火） 14:00～15:30	アスパラガスの来歴と作型
第 3 回	6月10日（火） 14:00～15:30	農学部フィールド科学センターの見学 14：00 岡山学習センター玄関前集合
第 4 回	7月8日（火） 14:00～15:30	ピーマン・トウガラシの来歴と作型
第 5 回	9月9日（火） 14:00～15:30	農学部フィールド科学センターの見学 14：00 岡山学習センター玄関前集合

テキスト

- ◆ 適宜配布します。

参考書・参考資料等

- ◆野菜園芸学の基礎、篠原 溫編著、農文協、ISBN978-540-11205-8 (4,000 円+税)
- ◆図説園芸学（第2版）、荻原 勲編著、朝倉書店、ISBN978-254-41040-2 (3,600 円+税)

◆吉田ゼミ生募集（教員メッセージ）

フィールド科学センター圃場の見学を交え、野菜の成長を見ながら知識を深めてもらいたいと思います。

2025 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス (加来田ゼミ)

科目名 OTC 医薬品を学ぶ 2025 (1)	サブタイトル
	担当教員 加来田博貴 専門分野 医薬化学

● 授業の到達目標及びテーマ

OTC 医薬品とは、薬局やドラッグストアなどで購入できる医薬品のこと、「市販薬」とも呼ばれます。OTC は、「カウンター越し (Over The Counter)」にお薬を販売するかたちに由来します。OTC 医薬品を熟知すれば、自分自身で健康を管理、あるいは疾病を治療する「セルフメディケーション」にも役立ちます。このゼミでは、OTC 医薬品について理解を深めることを目指します。

● 科目概要

本ゼミは、セルフメディケーションに役立てられるよう、ドラッグストアで販売されている医薬品や化粧品などについて学びます。テキストは「登録販売者」を目指す方向けに書かれたものを用いて、受講生と対話形式にて進めます。今期は、秋に行われる登録販売者の試験も視野に、独学しにくい法律関係を中心に学び、医薬品についておさらいをしていきたいと思います。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4月13日（日） 13:00～14:30	第4章 薬事関係法規・制度（1） (1) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の目的等 (2) 医薬品の分類・取り扱い等
第 2 回	5月11日（日） 13:00～14:30	第4章 薬事関係法規・制度（2） (3) 医薬品の販売業の許可等 (4) リスク区分に応じた販売従事者、情報提供及び陳列等
第 3 回	6月 8 日（日） 13:00～14:30	第4章 薬事関係法規・制度（3） (5) 医薬品販売に関する法令遵守 (6) 手引き別表
第 4 回	7月13日（日） 13:00～14:30	第5章 医薬品の適正使用・安全対策 (1) 医薬品の適正使用情報 (2) 医薬品の安全対策、医薬品の副作用等による健康被害の救済
第 5 回	9月14日（日） 13:00～14:30	第5章 医薬品の適正使用・安全対策 (3) 一般用医薬品に関する主な安全対策と啓発活動 (4) 主な使用上の注意の記載とその対象成分・薬効群等（手引き別表）

テキスト

◆登録販売者 テキスト & 問題集（石川達也著）改訂3版 ISBN : 9784046072252
(昨年度履修された方は、昨年度のテキストでも構いません)

参考書・参考資料等

◆薬のしくみとはたらき事典（丸山 敬 著）ISBN : 9784816367564
◆絵でわかる薬のしくみ（船山 信次 著）ISBN : 9784065179871

◆加来田ゼミ生募集（教員メッセージ）

参加者の皆さんにとってもやる気に満ち、楽しい時間を共有できました。進め方は、テキストを詳細に読むよりも、重要なポイントを押さえつつ、分かりにくい部分を解説していくスタイルです。途中で質問があれば気軽にどうぞ。進行はゆっくりとしたものになるかもしれません。繰り返し学習したい方も歓迎です。

2025年度第1学期 開講ゼミ シラバス（谷口ゼミ）

科目名 常用漢方薬を知る	サブタイトル
	担当教員 谷口 抄子 専門分野 生薬漢方薬学・薬用植物学

● 授業の到達目標及びテーマ

漢方の独特的診断基準について概要を学びます。各論としては病院などでも処方される機会のある常用の漢方薬のなかで、呼吸器系疾患や消化器系疾患に利用されることの多い処方について、構成する生薬とそれらの使い分けについて知ることを目標とします。

● 科目概要

西洋医学と漢方医学の違いや漢方の基本となる概念を説明します。そのうえで、中心となる生薬により分類した処方群について、その働きや使い分けを学びます。各処方の学習を横軸に、漢方の概念（縦軸）を理解できるように進めていきます。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第1回	4月17日(木) 14:00~15:30	漢方の特徴、基本概念、診断法（1）
第2回	5月15日(木) 14:00~15:30	漢方の特徴、基本概念、診断法（2）
第3回	6月19日(木) 14:00~15:30	桂枝湯類・麻黄湯類の構成生薬とその使い方
第4回	8月21日(木) 14:00~15:30	人参湯類の構成生薬とその使い方
第5回	9月18日(木) 14:00~15:30	承気湯類の構成生薬とその使い方

テキスト

◆腹証図解漢方常用処方解説（三考塾叢刊） 改訂版、東洋学術出版社、高山 宏世（編著）、¥1,980
ISBN : 9784904224588 各自で用意してください

参考書・参考資料等

◆生薬の働きから読み解く 図解 漢方処方のトリセツ 第2版、じほう、川添和義（著）、¥4,400
ISBN : 9784840753777

◆谷口ゼミ生募集（教員メッセージ）

西洋医学とは異なる概念をもつ漢方医学ですが、その考え方を知ることで、自分の体調を西洋医学とは違った視点で眺めることができるようになると思います。実際に利用される処方について、配合されている生薬の働きや作用の違いなどを含めて学習します。漢方について一緒に学び、体調管理に役立てましょう。